

# 地域医療研究会

## 全国大会 2015 in 大阪

### 2015.10/ 3 ± 4 日

会場:大阪国際交流センター

主催:地域医療研究会

主幹:社会医療法人医真会

## 少子超高齢社会における 地域医療・地域包括ケアとは

我が国は少子化に歯止めが掛かることなく、他の先進国にはない速さで高齢化が進み、2007年に高齢化率は21.5%となり、超高齢社会に突入しました。そして、2025年には団塊の世代の方々が後期高齢者となり、75歳以上の人口は現在の1650万人から2200万人に達すると推定されています。その一方で核家族化が進み、「高齢者は家族で面倒を見る」を改めるべく、2000年に介護保険制度が導入されました。そしていま、認知症の方も重度の要介護状態の高齢者の方も、住み慣れた地域で人としての尊厳を保ちながら、自分らしい生活を人生の最後まで送れるように地域全体で支援する地域包括ケアシステムの構築が求められています。しかし、多くの医療・介護の提供者はいまだに概念としての理解にとどまり、その進捗状況は地域によって大きな差が出てきています。そして、もう一方の当事者である高齢者の方々はこのシステムのことをどの程度ご存知なのでしょうか。2025年まであと10年となり、残された時間はわずかです。

少子超高齢時代の地域を支える重要なシステムとして、地域医療・地域包括ケアが住民の皆様から頼りになる仕組みと評価され、地域に根付く事が出来るにはどうすればよいか、この全国大会ではシンポジストの方々にそれぞれの立場からご発表、ご発言をいただき、会場の皆様とも活発で有意義な討論を行ってまいりたいと思っております。



### 申込受付

### 2015年6月22日(月)

### ～8月31日(月)

お席に限りがございますので、できるだけ事前にお申し込みください。

大会参加費	事前申込	当日申込
医師・歯科医師	6,000円	7,000円
看護師	2,000円	3,000円
一般	2,000円	3,000円
学生	1,000円	2,000円
懇親会参加費	5,000円(10/3)	
昼食代	1,000円(10/4)	

〈全国大会に関するお問い合わせ〉

大会事務局

社会医療法人医真会 医真会経営企画本部

〒581-0036

大阪府八尾市沼1丁目41番地

TEL:072-948-2500

FAX:072-948-0388

E-mail:info@ishinkai.or.jp

後援:厚生労働省/日本医師会/大阪府医師会/  
八尾市医師会/全国在宅療養支援診療所連絡会  
/大阪府私立病院協会

お申込は、専用ホームページから

地域医療研究会 全国大会

検索

大会長 松村 吉庸  
(社会医療法人医真会 理事長)

<https://hbs.one.ne.jp/chiiken2015/>



# 地域医療研究会

全国大会 2015 in 大阪

2015.10/ 3 ± 4 日



※講演内容は変更する場合もございます。

## 第1日目:平成27年10月3日(土)

### 13:30~13:45 開会式

代表世話人 松本 文六 (社会医療法人財団天心堂 会長)  
大会長 松村 吉庸 (社会医療法人医真会 理事長)

### 13:45~14:15 大会会長講演

#### 高齢者自身が望む地域包括ケア

~選択と心構えはできていますか?~

松村 吉庸 (社会医療法人医真会 理事長)

### 14:15~15:15 特別講演

#### 地域包括ケアシステム ~今、私たちは何をすべきか!~

田中 滋 (慶應義塾大学 名誉教授)  
座長 青山 壽久 (社会医療法人財団 石心会  
埼玉石心会病院 筆頭副院長)

### 15:35~17:45 メインシンポジウム

#### 少子超高齢社会における地域医療・地域包括ケアとは

シンポジスト 梅村 聡 (日本医師会総合政策研究機構  
客員研究員)  
唐澤 剛 (厚生労働省 保険局 保険局長)  
黒岩 卓夫 (医療法人社団萌気会 理事長)  
田中 滋 (慶應義塾大学 名誉教授)  
松尾美由起 (医療法人松尾クリニック 院長)

※五十音順

座長 亀井 克典 (医療法人生寿会 理事長)  
松村 吉庸 (社会医療法人医真会 理事長)

18:00~

懇親会



# 第2日目:平成27年10月4日(日)

## 分科会Ⅰ 9:30~12:00

### 持続的な社会保障制度は可能か

- コーディネーター 代表世話人 松本 文六  
(社会医療法人財団天心堂 会長)
- シンポジスト1 今井 重信  
(特定医療法人社団若林会 理事長)
- シンポジスト2 近藤 克則  
(千葉大学大学院医学研究院  
中核研究部門環境健康科学講座公衆衛生学 教授)
- シンポジスト3 垣田 さち子  
(京都府保険医協会 理事長)
- シンポジスト4 武田 知弘  
(ジャーナリスト)

## 分科会Ⅱ 9:30~12:00

### 地域包括ケアの質を左右する多職種連携 —在宅医療・介護連携推進事業—

- コーディネーター 北澤 彰浩  
(JA長野厚生連 佐久総合病院 診療部長)
- シンポジスト1 坂本 仁  
(坂本医院 院長)
- シンポジスト2 桑原 直行  
(秋田厚生医療センター 救急総合診療部長 兼 脳神経外科科長)
- シンポジスト3 吉村 学  
(元揖斐郡北西部地域医療センター 管理者・センター長、  
現宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座 教授)
- シンポジスト4 長内 さゆり  
(ホームホスピス宮崎 訪問看護ステーションぱりおん 管理者  
宮崎キュアケアネット主要メンバー)
- シンポジスト5 大石 和美  
(有限会社丸山薬局 薬剤師 滋賀県東近江三方よしの会主要メンバー)

## 分科会Ⅲ 9:30~12:00

### 少子化時代の子育て支援を考える

### 子どもの立場から 今、コミュニケーションの危機

- コーディネーター 提島 英雄  
(社会医療法人医真会 安中診療所 診療部部長)
- シンポジスト1 加藤 邦子  
(川口短期大学こども学科 教授)
- シンポジスト2 八木 由奈  
(八木小児科 副院長)
- シンポジスト3 木村 直子  
(南魚沼市役所 南魚沼市 福祉保健部 保健課 母子保健班 主任保健師)
- シンポジスト4 竹部 倫子  
(医真会八尾総合病院 言語療法科 主任)
- シンポジスト5 中村 香世  
(藤井寺市立藤井寺幼稚園 園長)

## 分科会Ⅳ 9:30~12:00

### 地域包括ケアシステムにおける 急性期病院の看護師はどうあるべきか

- コーディネーター 乾 静  
(医真会八尾総合病院 看護部部長)
- シンポジスト1 小川 裕子  
(医真会介護事業センター センター長)
- シンポジスト2 中川 幸士  
(奈良県医療政策部 理事)
- シンポジスト3 久保田 聡美  
(高知県立大学 看護学研究科 特別研究員)
- シンポジスト4 今川 弘  
(医療法人弘善会 矢木脳神経外科病院 地域包括部長)
- シンポジスト5 高橋 弘枝  
(独立行政法人地域医療機能推進機構(UCHO)本部 企画経営部医療副部長(看護担当))

## 分科会Ⅴ 9:30~12:00

### 地域で働く医師を養成する ~新専門医制度を迎えるにあたって~

- コーディネーター 大西 康史  
(南魚沼市立ゆきぐに大和病院 地域医療部部長)
- シンポジスト1 草場 鉄周  
(医療法人北海道家庭医療学センター 理事長、本輪西ファミリー  
クリニック 院長、日本プライマリ・ケア連合学会 副理事長)
- シンポジスト2 森 桂  
(厚生労働省医政局 医事課医師臨床研修推進室 医師臨床研修専門官)
- シンポジスト3 中山 明子  
(大津ファミリークリニック 家庭医療科 家庭医療専門医)
- シンポジスト4 井上 陽介  
(湯沢町保健医療センター 管理者)
- シンポジスト5 和田 忠志  
(医療法人実幸会 いらはら診療所)

## 分科会Ⅵ 9:30~12:00

### 医療ソーシャルワーカーとケアマネジャーの連携 ~顧客の立場に立った入退院調整を目指して~

- コーディネーター 杉田 恵子  
(医真会八尾総合病院 医療福祉科 管理科長)
- シンポジスト1 竹内 一夫  
(兵庫大学 健康科学部 看護学科副学科長 教授)
- シンポジスト2 長 純一  
(石巻市包括ケアセンター 所長)
- シンポジスト3 畑中 良子  
(公益社団法人日本医療社会福祉協会 東日本  
大震災対策本部 石巻災害対策本部担当)
- シンポジスト4 北村 尚洋  
(八尾市立病院 地域医療連携室 主任)
- シンポジスト5 中辻 朋博  
(社会福祉法人風の馬 特別養護老人ホームアリオン 施設長)

## 13:00~13:30 地域医療研究会総会

## 13:30~15:00 一般公開講演

### 今こそ あったかな 地域医療が必要 —命を支えるということ—

- 鎌田 實 (組合立諏訪中央病院 名誉院長)  
座長 清水 聡 (医療法人健康会 京都南病院グループ 理事長)

## 15:00~16:00 全体報告会・閉会式



# 地域医療研究会 入会のご案内

こんにちは、そして、ようこそ、地域医療研究会へ。

地域医療研究会は、全国のそれぞれの地域で医療・保健・福祉を実践している医療機関やその職員及び医療人、市民により構成された、ゆるやかな結びつきを持ったネットワーク型の会です。

それぞれの地域で、「患者のために」「地域住民のために」「老人や弱者のために」…を地域の状況に応じそれぞれ独自の展開を実践してきた共通コンセプトから、地域住民を主体にした生活に根ざした医療・保健・福祉の提供と連携を目指すという熱き想いを抱き集めています。

1980年に発足した当時の目的は、地域医療の経験交流と地域医療を担う若手医師の確保と養成でした。現在、会員は全国に広がり、各々の地域で地域医療を実践しています。

21世紀を迎えた今、あるべき地域医療を求め共通の想いを抱いて活動している団体との共生を模索するためのネットワークにまで広がっています。

会の趣旨にご賛同いただける方々のご入会をお待ち申し上げます。

入会を希望される方は、地域医療研究会事務局かホームページを通してお申込み下さい。

なお、大会当日につきましても、ご入会の受付を行っております。

年会費	団体	1口 20,000円
	個人	1口 3,000円

地域医療研究会事務局

医療法人生寿会 法人本部

〒466-0027 愛知県名古屋市昭和区阿由知通四丁目13番地

朝日生命名古屋東ビル4階

TEL.052-858-1502 FAX.052-852-1302

E-mail [info@chiiken.com](mailto:info@chiiken.com)

地域医療研究会HP <http://chiiken.jp/>

## 地域医療研究会規約

### (目的)

第1条 本会は、保健予防・治療・リハビリテーションそして福祉との連携にいたる包括的な地域医療の理論と実践について、情報交換・研究を推進するとともに、地域医療に従事する医師等の育成・研修を行うことを目的とする。

### (名称)

第2条 本会は、地域医療研究会と称する。

### (事業)

第3条 本会の事業は以下のとおりとする。

- 1) 定期研究会
- 2) 会報及び定期研究会の報告集の発刊
- 3) 地域医療に従事する医師等の情報交換と研修に関する連携・協力
- 4) その他、本会の活動に必要な事業

### (会員)

第4条 本会の会員は、地域医療に従事し、あるいは関心を持つ、団体会員および個人会員とする。団体会員は、病院・診療所等の医療機関、その他とする。

### (組織)

第5条 本会には、総会、世話人会、事務局を置く。

第6条 定期総会は2年に1回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。

第7条 世話人及び監事をもって本会役員とし、世話人会の推薦により世話人および監事は総会において若干名を選出する。

第8条 世話人会において代表世話人および会長を選出し、代表世話人が本会を代表する。  
■代表世話人は、若干名の世話人等に、事務局担当を委嘱する。  
■会長は、次期研究会の責任者とし、実行委員会を組織し、その準備にあたる。

第9条 本会には顧問を置くことができる。顧問の選任は世話人会の推薦により総会における承認を要する。

### (会計)

第10条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。

第11条 会費は、団体会費は年額一口2万円、個人会費は年額3,000円とし、毎年、定期総会までに納入するものとする。細則は世話人会にて決める。

第12条 会計報告は、監査を受け、定期総会に報告し、承認を得るものとする。

### (改正)

第13条 本規約は、総会において改正することができる。

### (付則)

第14条 ■本規約は、1987年8月22日より発効する。  
■当面の間、第6条、第12条は、世話人会の決定にて変更することができる。  
■本規約は、1991年9月1日、1995年8月27日に一部改正した。  
■本規約は、2013年9月16日、第7条削除、以降繰り上げ。